

科目名	課題研究(修士論文作成)				担当教員名	飯干 泰彦、石松 一真、今本 尚子、宇田 淳、大石 雅子、岡 耕平、榊原 修平、目 篤、清水 史恵、戸田 満秋、南部 雅幸、萩原 邦子、平河 勝美、別所 一彦、水本 一弘、三 善 英知、和中 明生、石原 啓之
該当DP	1, 2, 3	単位数	8単位	特別演習	配当年次	2年次・第4セメスター
曜日・時限					教室	
授業概要	<p>主指導教員、副指導教員の指導のもと、修士論文を作成し、その成果を公聴会で発表する。</p>					
到達目標	<p>1)以下の項目に従って、修士学位論文を作成できる。          ・「序論」では、文献を適切に引用しながら、論文の背景、意義、目的を説明できる。          ・「方法」では、研究対象や方法を具体的かつ簡潔にまとめることができる。          ・「結果」では、収集・分析した結果を図表にまとめ、説明できる。          ・「考察」では、関連する文献と比較しながら、論文の価値を説明できる。          ・以上の内容を「要旨」に簡潔にまとめることができる。          2)研究成果を公聴会で発表し質疑応答ができる。          3)研究倫理に従って、学会発表や論文作成ができる。</p> <p>※ 本科目は、ディプロマ・ポリシーにおけるDP1、DP2、DP3の全ての到達を目標とする。</p>					
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
			<p>中間報告会終了後、継続してデータの収集・分析を進め、得られた結果を図表を使いながら簡潔にまとめる。さらに、その結果を過去の文献と比較することで論文の意義を考察する。特別演習の成果とこれらの結果・考察をもとに学術論文を作成する。同時に、公聴会に向けて研究成果をスライド原稿にまとめ、口頭発表・質疑応答を行う。          [プレゼンテーション]</p>			○
キーワード		修士学位論文のテーマに応じて決定する。		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	特に指定しない。				
	参考書(任意購入)	指導教員が随時紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		修士学位論文の内容及び公聴会における口頭発表・質疑を総合的に評価する。				
授業時間外に必要な学修		指導教員が随時指示する。				
学生へのメッセージ		修士学位論文は本研究科における学修、研究の集大成です。優れた研究は、皆さんのキャリアの発展につながると同時に、社会にとっても有益なものとなります。皆さんの努力を期待します。				